



交流の輪ひろげよう

Ring

Ring

りんぐりんぐ

第64号
VOL.64

八戸国際交流協会

Hachinohe International Relations Association

2019年8月

Published August 2019

日本語で“思い”を伝えよう！



令和元年6月1日（土）

八戸市公会堂で第60回外国人による日本語弁論大会が開催されました。

第60回大会には、29カ国／地域、123名の応募の中から予選を通過した11カ国、12名の方々が出場しました。第一部では、日本についてそれぞれの視点から、流暢な日本語と時にユーモアを織り交ぜた話術でスピーチを発表しました。第二部では、郷土芸能「えんぶり」と南部弁トークが会場を沸かせました。

大会開始前には、特別審査員のパッケンが出場者と記念撮影をし、激励の言葉をかけていました。

⇒ 詳しい内容は、2～3ページをご覧ください。

交流するともっと
わかる世界のこと。

Index

P2～3 外国人による日本語弁論大会
P4 Pee Wee IH大会ホストファミリー体験記
P5 ニューカレドニア高校生来八
P6～7 世界で活躍する八戸ゆかりの人

P8～9 国際交流員アンジェリカのコーナー
P10 タヒチから八戸へ
P11 HIRAからのお知らせ
P12 外国人住民用「ほっとスルメール」

会員数

個人

168

団体

59

（令和元年8月現在）

外国人出場者の日本に対する思い、胸に迫る！

令和元年6月1日（土）、第60回外国人による日本語弁論大会が、高円宮妃久子殿下の御臨席のもと、八戸市市制施行90周年記念事業として、八戸市公会堂で開催されました。

◆外国人の出場者達と審査方法

事前の動画審査により選抜された、ベトナム、アメリカ、中国、ルクセンブルク、韓国、キルギス、マレーシア、シリア、ベナン、スリランカそしてミャンマーの11カ国12名の出場者が八戸に集結しました。常日頃それぞれが日本で体験したことを、彼らにとっては外国語である日本語で聴衆に語りかけました。審査はスピーチのテーマ、テーマを説明するためのエピソード、表現の仕方、語句・発音・抑揚、そして説得力ある話し方の5項目で行われ、各賞が決められました。



◆第一部はコンテスト

スピーチ前の出場者達にリラックスしてもらおうと、特別審査員でタレントのパトリック・ハーランさんがステージに登場、緊張をほぐす体操と称して会場の笑いを誘いました。いざ大会が始まると、出場者たちはそれぞれ、日本で体験したことから何を感じ取ったのか、その体験をどの様に役立たせるか、といった内容を見事に日本語で6分間スピーチし、聴衆は拍手で、これを讃えました。



◆第二部はアトラクション

第二部では、榎谷伸夫さんの司会で南部弁と郷土芸能のえんぶりが披露されました。出場者達も、子供たちが手本となって教えるえんぶりの動作（田植え）を体験してみて、緊張から解放されたのか笑顔で踊っていました。

◆編集長's "Eye"

八戸にやって来る外国人の数が多くなり、職場あるいは地域でコミュニケーションの問題がおきていることも耳にします。この出場者達の日本語習得方法も参考になるのでしょうか。また外国語を勉強している日本人にとっても、怠けてはいられませぬね。



八戸在住外国出身者に弁論大会の感想をインタビュー！

★ 一人目は国際交流員のアンジェリカさん ★

弁論大会出場者との交流に参加させていただきましたが、前日の夕食会、弁論大会当日、翌日の八戸市内ツアーを通して出場者の皆さんの親切さに驚きました。私たちスタッフだけにではなく、他の出場者にもそうでした。競争相手という感じが全くなく、お互いに応援し合って仲良くなっていました。出場者の皆さんにとって、この弁論大会は恐らく一期一会の機会だったと思います。優勝するように頑張ろうという気持ちはもちろんありましたが、大会の結果に関わらず、この機会を大事にして皆でいい思い出を作って、何かを学ぼうという気持ちを強く感じました。また、日常生活や日本語の勉強でもそういった姿勢で取り組んでいるのではないかと思います。人間的にもとても素晴らしい出場者の皆さんから学ぶことがたくさんあり、本当に素敵な大会でした。



★ 二人目はフィリピン出身のジョイさん ★

『良い刺激をもらって、やる気アップ!』

私は今、日本語を勉強していますが、難しいと感じています。先日日本語弁論大会を初めて見に行きました。全て日本語で話されるスピーチの内容が分かるか心配でしたが、発表者ではない私もワクワクドキドキしながら聴くことができました。発表者と観客が、それぞれどのように感じるのかなと考えたりもしました。

観客の反応にびっくりしたことがあります。それはスピーチの内容をよく聞いていて、ジョークには声を出して笑い、日本語を話す外国人の方々に敬意を表していたことです。また、スピーチを聞いて、私は前向きになることができました。日本語は綺麗で、ユニークで、難しい言語ですが、皆さんとても上手に話していました。弁論大会を見に行ったことで、日本語の勉強をもっと頑張ろうと思いました。そして弁論大会が終わってからすぐに『わからない』というタイトルの、短いポエムを書きました。もし私がいつか弁論大会に出るときには、同じタイトルのスピーチを発表すると思います。それはいつなの？と聞かれたら、ごめんなさい。いつになるかは『わからない』！

大会前日から八戸入りし、それから3日間を一緒に過ごした出場者の方々。過去の大会を振り返っても、ここまで出場者同士で仲良くなるのは珍しいとのこと（主催者談）。

そこで、出場者がどのように交流を深めていったのか、写真で振り返ってみましょう！



大会前日（5月31日）の夕食会
初顔合わせの場でしたが、終始和やかな雰囲気でした



本番当日（6月1日）の楽屋の雰囲気
（まだ出番前）



大会翌日（6月2日）の出場者交流ツアー
館鼻岸壁朝市－葦毛崎展望台－中須賀トレッキング－種差海岸－八食センター

写真や動画をもっと見たい方は、
Instagram /Instagram ページ（@hachinoheworld）や
You tube をチェック！

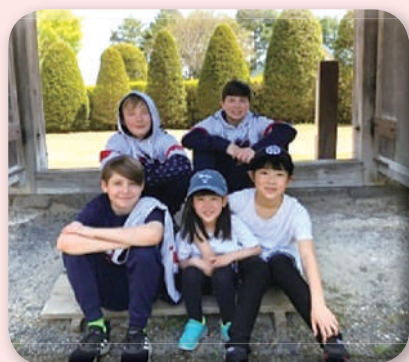


★PEEWEE 国際アイスホッケー八戸記念大会★ ホストファミリー体験記

令和元年4月27日～5月5日にかけて、テクノルアイスパークで、「第16回フレンドシップ 2019 ピーウィー国際アイスホッケー八戸記念大会」が開催されました。大会には、チェコ、アメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドの5カ国と八戸市の計13チームが参加し、アイスホッケーを通じて交流を深めました。

大会の目標は、アイスホッケーの技術を競い勝敗を決めることだけでなく、お互いの文化や習慣について学びながら国際的および生涯にわたる友情を築くことにあります。選手たちはホームステイを行い、素晴らしい時間を過ごしたようです。

しかし、ホストファミリーにとっては、良い体験でありながら、ある意味挑戦でもありました。今回アメリカ人の男の子3人を、10日間ホストしたご家族にお話を伺うことができました。



「私達家族、特に子供達にとって一生忘れられない大切な思い出になりました。今ここに彼らがないのが不思議に感じるくらい、家族の一員になっていました。彼らが帰国した後、子供達は今まで見たことがないくらい寂しがっていました。ホームステイだけでなく、共に同じスポーツをしていることが絆を強くしたと思います。対戦したり応援したりしているうちに、お互いの気持ちもわかるようになりました。」

「大変だったのは食事です。自分たちが食べたことのあるものしか食べず、日本のレストランの味は口に合わなかったみたいで、残すことが多かったです。うちに滞在した子たちは野菜も全く食べなかったし、手作り料理や和食に挑戦することは無理なようでした。でも、これは自分の子供がアメリカに行った時に、ハンバーガーばかり食べていてどれもおいしくなかったと言っていたので、同じようなことかなと思いました。」



「また、部屋にこもってしまったり様子が気になったりした時の、声のかけ方が難しかったです。日本での生活に不安や悩みを抱えていたかもしれないので、理解して寄り添ってあげることに努めました。そして、ゲストのご両親とも同じ年頃のホッケー少年たちの子育てについて、もっと話をしたかったです。日本の教育とは異なる方法があったので参考にしてみたいです。」

「最後の方は、私達と一緒に過ごす時間を多く作ってくれてとても嬉しかったです。部屋で1人でゲームばかりしていたのが、リビングでうちの子供たちと遊ぶことが増えていきました。選手と一緒に来ていた兄弟たちとも打ち解けているのを見ると、子供たちが仲良くなるのに言語の違いは関係ないんだなと思いました。」





ニューカレドニアから、ようこそ八戸へ！



令和元年6月28日から7月6日までの8泊9日間、ニューカレドニアのラペルーズ高校の生徒13名が八戸市を訪れ、ホームステイをしました。

ニューカレドニアの学生が訪れるのは10年ぶりで、前回と同じく山田由美子先生が引率してられました。

*ニューカレドニアメモ

首都：ヌメア 人口：約25万人 通称：天国に1番近い島

○ホームステイ中のスケジュール

6/28：八戸市青少年海外派遣事業で派遣された生徒のご家庭などにホームステイ。温かく迎えられ、八戸での生活を楽しめそう！

6/29、30：週末だったのでいろいろな場所へ連れて行ってもらえました！（観光農園や朝市など・・・）

7/1：市長を表敬訪問した後、「はっち」で日本文化を体験しました！
今回来訪した生徒たちは、選択授業で日本語や日本文化を勉強しているそうです。市長に八戸の感想を伝えるときにも、流暢な日本語で話している生徒がいました。

午後は浴衣を着せてもらって、けん玉と和楽器の演奏体験をしました。初めてのけん玉にもかかわらず、ものの数分で上達し熱中していました。和楽器は、三味線・小鼓・太鼓で「きらきらぼし」を合奏しました。



小鼓の練習風景

7/2：市内を見学。そして別れと新しい出会いが・・・

ニューカレドニアとの交流のきっかけとなる、ニッケル鉱石を輸入している大太平洋金属（株）を見学。史跡根城の広場では「八幡馬」の絵付け、長者まつりめぐり広場の山車小屋では八戸三社大祭の山車制作を体験しました。

この日の夜から、ホストファミリーが替わり八戸工業大学第二高等学校の生徒のご家庭にお世話になりました。

7/3～5：工大二高の授業に参加し、生け花や書道、てんぼせんべい作りも体験しました。3日

には歓迎式が催され、吹奏楽部によるフランス国歌の演奏や、有志による居合いの演武が行われました。ニューカレドニアの高校生たちは、歌とダンスを披露しました！



居合いの披露



てんぼせんべい作り

7/6：八戸市滞在最終日。長いようで短かったような・・・

かねてよりの希望だった夜行バスで東京まで移動することに！！

またぜひ八戸に来てくださいね！

★写真や動画をもっと見たい方はInstagram” hachinohe world”へ！

ご協力／^{エイトスパイクス} spikes／長唄はつ音会／鍛冶町附祭若者連／八戸工業大学第二高等学校／大太平洋金属(株)／ヤフー(株)



けん玉検定に挑戦



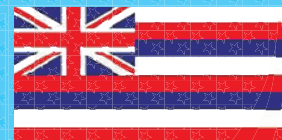
山車の花付け！お祭当日が楽しみ！



お別れ前にファミリーと一緒に



世界で活躍する八戸ゆかりの人



ハワイ州の旗

◆異国との出会いはなんと青森県

私は6歳の頃、自衛官だった父の転勤のため、転校生として静岡県浜松市から青森県三沢市へやってきました。そこで目の当たりにしたものはなんとそこに住む「外国人」でした。

ご存知の通り、三沢市は多くのアメリカ軍人が駐在しており、ご近所から英語が飛び交う環境。英語を使える環境が豊富にありました。ご近所の外国人との生活が、私の英語への興味を最大限に引き出しました。

関東の大学で英語を専攻し、すっかり英語ができると自負していた私は、都内の外資系のホテルに就職したものの、現実を目の当たりにして挫折！実際にビジネスの場で使われている英語は私が知るものとは全く違ったものでした。

20代前半の多感な時期に大きな挫折を味わった私は、なんと現在の実家のある八戸市で「生きた」英語を習得することに…。



エスクロー会社時代
(前列左から3番目が私)

◆地元八戸市で英語漬け生活

八戸の実家に戻った私は、英語力を再取得するため片っ端から英語教室をあたり、現在白山台にある Jackson Two (ジャクソン ツー) 英会話 & コンピュータ教室(当時は番町)とのご縁を得て、幸いにもアシスタントとして数年間、朝から晩まで先生方と働きながら英語漬けの日々を過ごすことができました。「生きた」英語はなんと地元八戸で学ぶことができたのです！

◆ハワイで伴侶に出会う

29歳の私は、獲得した英語力を英語圏で試してみたい衝動にかられ、ハワイ大学の語学コースに短期で通うことにしました。世界中から集まった沢山の生徒の代表として、卒業式のスピーチをすることができたのは、言うまでもなく八戸で培った英会話力のお陰。そして、ハワイ最後の日に会った人と、将来ハワイで家族を作り生活することになるとは、夢にも思っておりませんでした。

◆仕事のこと

7歳と11歳の子育てに奮闘しながら、現在、ハワイでコンドミニアムを展開する韓国のデベロッパーのもと、社長室で勤務しております。韓国語はまだ勉強中ですが、地元のクライアントと英語でネットワークを作り、会社との架け橋になれるよう奮闘しております。ヒルトングランドバケーションやエスクローの経験をもとに、ハワイの不動産業に現在も携わるのは、もしかすると主人のファミリービジネスの影響なのかもしれません。

どこに住んでいても頼れるのは自分の努力と経験のみ。今、気をつけていることは、等身大の自信を持って

ここでは、世界で活躍している八戸出身者を紹介しています。

今回は、第 63 号の Jackson 齊藤博子さん(現在は白山台で Jackson Two 英会話教室を開いています)からの紹介で、ハワイ在住、コンドミニアムのデベロッパーの社長室で働いているソカベ裕子さんです。

過ごすこと - 海外で前に進むときは常にポジティブであることが力につながります。心が折れそうな時は、等身大の自信を引き出して I'm okay-こんな自分でもいいんだと元気に笑って前に進むと努力しています。いつかその姿勢と努力と経験が実を結ぶ時が必ずくるはず！

海外の仕事と生活で学んだことは以下三か条。

何かに失敗した時は

Own it 失敗を自分のものと認め

Apologize 真摯に謝り

And Move on! そして前に進むこと

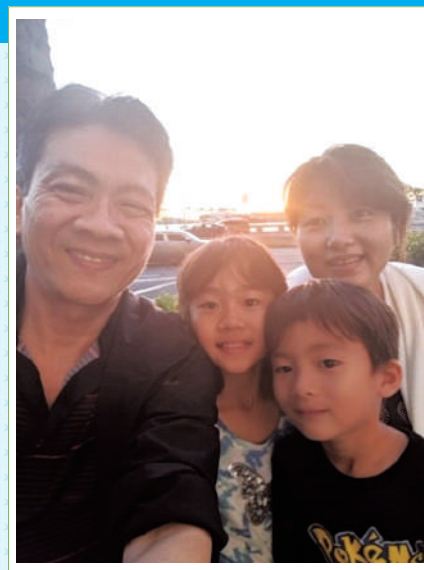


コンドミニウム建設現場－地鎮祭にて

それさえできれば世の中怖くない。与えられた任務と家族の健康と幸せに感謝してまた頑張る。きっとこの法則はどこに住んでいても通用するはず。

◆ハワイでの生活

日系人の主人とは食べ物の好みがちがったりで、美味しいものを互いに作って食べるのが普段の楽しみになっています。主人の方が最近腕を上げています。子供達は合気道、私は八戸で始めた華道をハワイで続け、草月流の「師範」の資格を頂いたところです。ひな祭りやこどもの日もお祝いし、日本の心を忘れないよう心がけています。



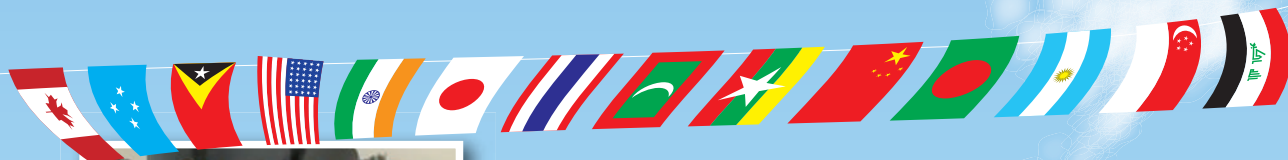
4 人家族です

◆海外に出て気づいたこと - 八戸

八戸は、美しくて平和で豊かで美味しい最高に住み良いところです。海外に出て改めてその豊かさを痛感しています。

海外に出てしまった私たちの分も、どうか八戸を満喫してください。

八戸はいつまでも、私の心のオアシスであることに変わりないでしょう。



国際交流員(CIR) アンジェリカのコーナー!

Life in Seattle vs. Life in Hachinohe 「シアトルの生活 対 八戸の生活」

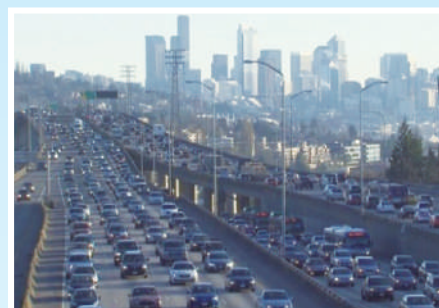
I've been in Hachinohe for about one year now! Hachinohe is a very livable city and I'm enjoying my time here so far. In the past year, I've noticed a few things about daily life in Hachinohe that are different from when I was living in Seattle, and I thought I would share some with you!

八戸に住んであっという間に1年が経ちました!八戸はとても住みやすい場所なので、日々の生活を楽しめています。この1年で、八戸とシアトルの日常生活の違いをいくつか見つけたので、紹介したいと思います。

Right off the bat, a big difference that I noticed after coming to Hachinohe was my commute. When I worked in Seattle, because the public transportation was not great, it took me 30 minutes by car, then 30 minutes by bus, and then 15 minutes by foot to get to my office. It was so stressful, especially during rush hour. In Hachinohe, I can walk to work in around 15 minutes! This really made me appreciate the importance of living close to my work place, and also having reliable public transportation for those who don't.

八戸に来て最初に気が付いたのは、「通勤」の違いです。シアトルで働いていた時は、家から車で30分、駐車場に停めてバスで30分、そこから更に15分歩いて通勤していました。それはとても大変で、通勤ラッシュの時間帯は特にストレスが溜まりました。

八戸では、徒歩15分で仕事に行けます!職場の近くに住むって大事ななぁと実感しています。そして遠くに住んでいる人にとっては、信頼できる公共交通機関の存在が欠かせませんね。



Another thing I noticed was trash. Japan is known for having strict trash separation rules, but I was surprised that most of Japan, including Hachinohe, does not separate compostable trash! It must be due to the fact that each place has access to different facilities for processing trash. Composting is important for healthy soil, reducing landfill, and is beneficial to the environment.

もう一つは、「ごみ」についてです。日本は、ゴミの分別や捨て方が厳しいことで知られていますが、生ごみ専用のごみ箱がないことに驚きました。それはおそらく、ごみが運ばれる処理場によって設備が異なるからだと思いますが、生ごみは、栄養豊富な土を作るのに重要なだけでなく、燃やしたり埋め立てるごみの量を減らすことができるため、環境にとっても良いです。

Seattle is considered relatively forward-thinking in the USA; not only do they separate compost from recyclables and regular garbage, but there have been new laws that ask businesses to only

use utensils, napkins, take-out boxes, and paper bags made from recycled paper or compostable materials! I always try my best to throw my trash away correctly, but of course, the problem is that not everyone pays attention to the different categories, and unfortunately a lot of it ends up all going into the regular trash...

シアトルは、アメリカの中でも先進的な都市だと言われています。普通ごみと、リサイクルごみや生ごみを分けて回収しているだけでなく、市内のお店で使うスプーンやフォーク、ナプキン、お持ち帰り用の箱や袋なども、堆肥にできる素材や再生品で出来たものでなければならない、という新しい法律ができました。

私は、いつもごみを正しく捨てるように心掛けていましたが、全ての人が気をつけて分別しているわけではないので、全部 普通ごみに捨てられてしまうことも多いのが現状です。



Of course, each place has its own history and culture, so it's not that one is better than the other; these are simply different lifestyles that we can all think about and learn from. Although Seattle is far from being one of the world's biggest cities, it is growing at a rapid pace. Even in the past few years, there have been many problems that Seattle will continue to face, including high housing prices, bad traffic, gentrification, increasing homelessness, and much more. On the other hand, smaller cities in Japan face decreasing populations, abandoned houses, and a lack of favorable career opportunities, among others. However, I've found that in Hachinohe, the sense of community is much stronger than in other bigger cities where I have lived.

もちろん、それぞれの都市が独自の歴史や文化を持っているので、どちらが良いというわけではありません。異なる生活スタイルを知って、そこから学ぶことが大切だと思います。

シアトルは、世界有数の大都市とはいえませんが、近年、急速に開発が進んでいます。ここ数年の間でも、家賃の高騰や交通渋滞、ホームレスの増加など、様々な問題に直面しています。一方、日本の地方都市では、人口減少や空き家の増加、仕事不足などの問題を抱えています。

ただ1つ言えるのは、私がこれまで住んでいた場所の中で、八戸の人が最もコミュニティを大切にしていると思います。

It's interesting how each city has its own strong points and challenges, and so I think it's important to be curious and learn about different places!

それぞれの都市に、見習うべき点と改善すべき点がありますね。だからこそ好奇心を持って、異なる場所（文化）について学んでいくことが重要だと思います。

Please follow us on Instagram for more photos and stories about Hachinohe's International activities!

八戸の国際交流の情報や体験について、インスタグラム /Instagram ページ (@hachinohe.world) や Face book でも発信していますので、ぜひフォローしてくださいね！





～タヒチから八戸へ～

よくおんでやんしたなー、オレリーさん！

初めまして。吉田オレリーです。現在、世界各国の間で交通と交流が盛んになっています。八戸にも、様々な理由で色々な国からたくさんの外国人がやって来ます。私もその中の一人です。

* 出身地はどこですか？

「どこから来ましたか？」と聞かれると、いつも少し困ってしまいます。なぜなら、説明が長くなるからです。国籍から言えば、フランスのパスポートを持っています。でも、皆さんが思い浮かべる、エッフェル塔のフランスは、私の故郷ではありません。生まれて育ったのは、太平洋の真ん中にあるタヒチという島です。タヒチはフランス領なので、標準語はフランス語。もちろんフランス文化らしいものはありますが、フランス本土ととても違います。タヒチは常夏で、とても小さな島です。島の一周はたったの120キロ。人口は八戸と同じくらいで、どこへ行っても知り合いに会います。学校では、ほとんど毎年クラスメイトの中に親戚がいました。まさに「島」ですね！

父はパリの外れにある小さな村の出身で、母はタヒチ生まれの中国系です。タヒチには、かつて本綿畑へ働きに来た中国人の子孫がたくさんいます。つまり、生まれた時には既に3つの文化が混ざっていました。(父のフランス、母の中国、そしてタヒチ) そんなわけで、フランス人とはいえ、実家の主食は米で魚もよく食べていたので、すぐ日本食に慣れました。

* 日本語はどのようにして覚えたのですか？

日本と言えば、マンガが世界中で人気ですが、日本の次にマンガが売れているのはフランスだと知っていましたか？私も中学校の時に日本のマンガをたくさん読みました。マンガを読めば読むほど、日本という国、そして日本語にも興味が湧きました。15歳の夏、初めて日本に来て、栃木県足利市でホームステイをしました。その時から、将来は日本と関わりたいと思い、高校卒業後は故郷から離れて、フランスの首都パリの大学で日本文化・日本語を勉強しました。また、昔からフランス語が好きで国語教師を目指したこともあったので、日本語と共に外国語としてのフランス語教育も勉強しました。



日本の桜も大好き！

そして、20歳のとき1年間東京で留学をすることになりました。それまでと違って観光ではなく、ちゃんと留学生として日本に住めたのはとても嬉しかったです。その1年間は、日本での生活を楽しみながら、いろんな国から来た留学生と一生の友達になりました。そして、八戸から来た学生とも仲良くなりました。

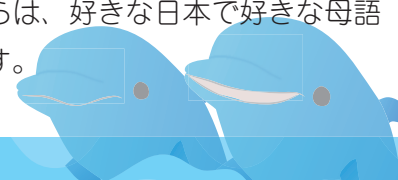
* 八戸にやってきたきっかけはなんでですか？

3年前にその八戸から来た人と結婚し、八戸にやってきました。知らない町があっという間に好きになりました。八戸の冬は、常夏の島の人にとって、つらいと同時にとても楽しいものです。今でも雪が降るとわくわくします。タヒチにいた時は、一年中緑で暖かいのが当たり前でしたが、四季がはっきりしている日本にいて、長い冬の後、緑が戻ってくることを深く感謝するようになりました。



種差海岸で

時々「どうしてこんな田舎まで？」と尋ねられますが、実は私にとって八戸はぴったりだと思います。東京よりはもちろん小さいですが、タヒチに比べて、十分大きいです。南の島で生まれましたが、これからは、好きな日本で好きな母語を教えながら、新たな故郷、八戸で生きてゆきます。





HIRAからのお知らせ

第9回 国際交流フェスタ in はちのへ 開催！

今年のフェスタは、八戸市の外国人住民数トップ3、中国、ベトナム、フィリピンの3カ国にスポットをあて、「知ればもっと仲良くなれる！」をテーマに開催します。入場無料。皆さん、是非、遊びに来てくださいね！

日 時： 9月15日（日）午前11時～午後3時

場 所： 八戸まちなか広場 マチニワ

内 容： ■外国人とおしゃべりコーナー
■ステージパフォーマンス
■フードブース
■海外留学相談デスク など



外国人のための日本語講座



八戸国際交流協会では、NPO 法人みちのく国際日本語教育センターに委託して、外国人のための日本語講座を開講しています。会話を楽しみながら、日本語を学びましょう。

日 程： R 1年8月27日～R 2年3月18日の毎週火・水曜日

時 間： 午後6時30分～午後8時30分

場 所： 八戸市福祉公民館（類家）、10～12月：八戸市津波防災センター（沼館）

対 象： 八戸市近郊在住の外国人（レベル別にクラスに分かれます）

受講料： 各コース 7,000 円（週1回、全20回）

【お問い合わせ】

NPO 法人 みちのく国際日本語教育センター
馬 場 080-6051-3109

npo-mijec@ezweb.ne.jp

明日山 080-6026-3109

michinokunihongo@gmail.com

八戸国際交流協会 会員及び準会員募集！

八戸国際交流協会の会員及び準会員※を募集しています。当協会は、地域の国際交流や、多文化共生社会の推進を目的として活動しており、会員の皆様の会費によって運営されている団体です。

年 会 費 個人 1 口 2,000 円

団体 1 口 10,000 円

会員の特典 ○協会発行機関紙「りんぐりんぐ」をお届けします。
○協会主催国際交流イベント情報をいち早くお届けします。
○協会主催のイベントや外国語講座では会員割引等の特典があります。

※準会員は高校生を対象とした会員制度で、年会費はありません。

八戸国際交流協会ボランティア募集！

当協会は、国際交流活動に参加していただけるボランティアを募集しています。ボランティアとして登録できる方は、**18歳以上**で、次に掲げる条件を満たす方です。

条 件 1) 八戸市内に住所を有する方
(市内の事業所及び大学に通勤通学している方を含む。)
2) 国際交流に対する理解及び熱意がある方

活動内容 通訳、翻訳、ホームステイ・ホームビジット受入、ツアーガイド、国際交流イベントの企画・従事など

ヒッポファミリークラブ

(英語はもちろん、いくつものことばを楽しみながら、話せるようになりたいと思いませんか?)

「八戸会場のご案内」お気軽にどうぞ!!

- 水曜日 15時半～17時 南部会館
- 金曜日 18時半～20時半 南部会館
- 土曜日 18時～20時 ユートリー
- 火曜日 18時半～20時 中野コミュニティセンター
- その他午前中も随時開催

<お申し込み・お問い合わせ>
言語交流研究所ヒッポファミリークラブ
☎ 0120-557-761



テラスにでると自然がいっぱい! 小鳥のさえずりと花と緑に囲まれた

とどろき保育園

認定こども園

〒039-2241
八戸市市川町字轟木前34-3
TEL 0178-52-5511
FAX 0178-52-5503
ホームページ <http://www.todoroki.info/>

子育て支援センター「スマイルガーデン」

KAMEI DENTAL CLINIC

カメイ歯科

八戸市六日町 23 (コンサートホールとなり)
TEL 0178-22-0707

診療時間	平日 10:00～14:00 15:00～19:00
	土曜 10:00～14:00

・六日町パーキング券
・共通駐車券 を差し上げております。



外国人のための「ほっとスルメール」

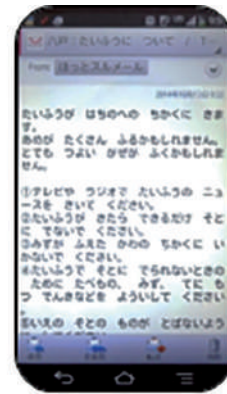
Disaster Prevention Information Email in English and Easy Japanese

「ほっとスルメール」とは、安全・安心に関係することについて、けいたい
でんわ ば そ こ ん い め ー る えいご にほんご
電話やパソコンのEメールに英語・やさしい日本語(※)でれんらくするものです。

※やさしい日本語とは、ふつうの日本語よりかんたんでわかりやすいことばです。

Hotto Suru Email is a service that sends out disaster and safety information to cell-phone and PC email addresses. Services are available in English and Easy Japanese.

*Simple Japanese : Japanese that is simpler than standard Japanese that is easy for foreign residents to understand.



登録料

お金はかかりません。0円です。

れんらくすること

- ①津波のおしらせ 日本語・英語、やさしい日本語でれんらくします。
津波(高い波)がくること、津波(高い波)からの逃げかた
- ②緊急のおしらせ 英語・やさしい日本語のどちらかをえらべます。
台風・地震が起きたこと、逃げるところ
- ③ライフラインのおしらせ 英語・やさしい日本語のどちらかをえらべます。
電気・ガス・水道の事故のこと

申込み / 登録

れんらくがほしい人は、ホームページから申込み / 登録してください。
<http://www.city.hachinohe.aomori.jp/index.cfm/22,56363,78.html#Applicationform>

★ほっとスルメール申込み➡



Cost

Registration and information services are free.
However, telecommunication fees remain.

Information Sent

- ① Tsunami Information available in Japanese, Easy Japanese and English
tsunami advisories / warnings, evacuation information
- ② Emergency Information available in English or Easy Japanese
earthquakes, typhoons, evacuation advisories / warnings, the opening and location of evacuation centers
- ③ Lifeline Information available in English or Easy Japanese
problems with electricity, gas and water



How to Register

For those who would like to register, please access the following website and submit the online registration form.
<http://www.city.hachinohe.aomori.jp/index.cfm/22,56363,78.html#Applicationform>

★Online registration form ➡



【れんらくさき Contact Information】

はちのへし し 市民連携推進課 国際交流グループ
Citizen Collaboration Promotions Section International Relations Group
〒031-8686 Hachinohe Uchimarui 1-1-1

TEL 43-9257 FAX 47-1485 E-mail renkei@city.hachinohe.aomori.jp

外国人の
お友だちにも
教えて
あげてね!



こかぶくん



編集後記

ニューカレドニア ラペルーズ高校の生徒が八戸市を訪れ、その引率者である山田由美子先生の講話を拝聴させていただきました。その中で、外国の方とのコミュニケーションで大切なことは、「話す内容をもっていること」だとおっしゃっていました。たとえどんなに外国語が話せても、話したいものについて情報がないと伝えられません。訪日される外国の方は、日本に興味があり日本を知りたいという気持ちがあるはずです。もちろん言葉も大切ですが、日本のこと、八戸のことを十分に伝えられる知識も必要なのだと実感しました。

編集スタッフ

編集長 - 川崎 康一

編集員 - 亀井 圭子 田頭 順子 松田 朋恵



宗石 美佐 菅原未希子 Micheal J Morris

Joy Pal 田中 野 アンジェリカ・ワン

関川 佳子 大山 詩織

発行・お申込・お問い合わせ:

八戸国際交流協会(八戸市市民連携推進課内)

〒031-8686 八戸市内丸1-1-1

TEL 0178-43-9257 FAX 0178-47-1485

E-mail: info@hachinohe-hira.jp

<http://hachinohe-hira.jp>



印刷: 赤間印刷工業株式会社

〒031-0072 八戸市城下一丁目24-21

TEL 0178-43-7158 FAX 0178-43-8237